

「私たちが畜産農家（養豚・鶏産・豚産）は多かれ少なかれ周辺住民から、臭いなどの指摘や苦情を言われることが多くあります。残念ながら、そのことで本人や家族が精神的に追い込まれ、産卵せざるを得ない仲間がいる



一雄 柄 鋤

のも事実です。私自身も昨年7月に豚熱（豚コレラ）感染の際に、近くに住む女性から「殺処分され知覚された豚の糞を運搬する子供たちが何歳まで」「どうお考えですか」と優しくお世話を掛けました。

とよたひまわりポーク

地域に根ざす新たなブランド肉に

その女性は豚よりむしろ自分が被害者なので、罪悪感については説明して

畜産家が半数近くもあるのが現状です。そういった意味で畜産

業は迷惑産業なのですが、食糧生産をしている世の中に必要な産業

だと私は強く感じます。そこで、地域の皆様にご愛されることを目標

探われる種を回収して、自給飼料として給与するごとも検討しています。

も残念ながら理解してもらえませんでした。

こういった事例は火山の一角で、2019年に全国で感染拡大した豚熱から再発したものの、周辺住民が畜産に反対するためスタートできない感

農の視点

10月3日(土) - 11月18日(水)

398円

398円

国立環境教育林高校とトヨタ生協がコラボした秋のお弁当企画にも、地元産食材として「とよたひまわりポーク」が使われます

に、豊田市内の全畜産農家1軒で新しいブランド豚「とよたひまわりポーク」を立ち上げました。豊田市の花「ヒマワリ」の種子を飼料に追加する

「MILK」で、市民の皆様により親しみを持って頂き、地産地消を進めたい考えです。将来的には市内の小中学校や休耕田に植えられたヒマワリから

「この豚産農家1軒はごもに豚糞堆肥を受け、苦心して再植した同産なので、同じ思いを持ってこのプロジェクトを始めました。いま、そのシンボルとなるロゴマークのデザインを市内の小中学校生に募集しています。

市民の皆様と一緒に「とよたひまわりポーク」を育て、一人でも多くの皆様にご食べて頂きたいと強く願っています。応援よろしくお願ひ致します。

すきから・ゆづいち 養豚農家トヨタファーム 二代目 藤原人 とよた相模校(初代校長) 神戸学院大学経済学部 部長 岡崎 一太郎 豊田市長 本町 在任